

塗装仕様書

塗装略号：DP1 塗装仕様：耐候性塗料塗り

素材：コンクリート，押出成形セメント板

部位：屋外

下地調整：RB種 種別：A-1種

規格：JIS K 5658 上塗り1級

セラMフツソ

工程		規格番号	塗料その他	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)	
下地調整	1	既存塗膜の除去	ディスクサンダー，スクレーパーにより，劣化しぜい弱な部分を除去する。			
	2	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等で除去する。			
	3	下地調整塗り	JIS A 6916 C-1	アレスカチオンフィラー 100 上水 10~40		16時間以上 7日以内
			JIS A 6916 C-2	アレスカチオンフィラーH 100 上水 20~27.5		7日以上 14日以内
			JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ（耐水形）	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。	
	4	吸込止め	JASS 18 M-201	浸透形Mシーラー 100 0	—	4時間以上 7日以内
5	研磨紙ずり	研磨紙P120~220		乾燥後，全面を平らに研磨する。		
1	下塗り	JASS 18 M-201	浸透形Mシーラー 100 0	0.08	4時間以上 7日以内	
2	中塗り	JASS 18 M-405	セラMフツソ中塗 塗料用シンナーA 10~20	0.14	4時間以上 7日以内	
3	上塗り	JIS K 5658 上塗り塗料 1級	セラMフツソ 塗料用シンナーA 100 0~10	0.10	—	

(注) 1. 押出成形セメント板の場合は，素地ごしらの工程3は省略する。

2. JASS 18 M-201, M-202, M-405は，日本建築学会材料規格である。

「塗付け量」と「所要量」について

「塗付け量」は、被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量のことです。

「所要量」とは、被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量のことです。

「所要量」は塗料のロス等を含みますので、「塗付け量」よりも多くなります。

※ 塗付量は被塗物の形状や塗装条件などによって増減することがあります。